

令和5年9月22日

長岡京市議会

議長 三木常照様

建設水道常任委員会

委員長 福島和人

建設水道常任委員会所管事務調査報告書

本委員会は、去る令和3年12月の委員会において、「将来を見据えたまちづくりについて」を所管事務調査項目とし、鋭意、調査・研究を行ってきました。

ここに、所管事務調査の活動を総括し、会議規則第103条の規定により、下記のとおり報告します。

<はじめに>

生産年齢人口が減少し、超高齢社会が進展する中で、生活を支えその質を高める都市サービスや都市活動の持続などの課題に対応するまちづくりが必要とされています。このようなまちづくりの転換期において、本市でも平成28年に第二期長岡京市都市計画マスタープランが策定され、阪急長岡天神駅周辺を含めた中心部の整備など、新たなまちづくりが進められています。

そのような中、本委員会では、「将来を見据えたまちづくりについて」を所管事務調査のテーマとしました。具体的なものとして、阪急長岡天神駅周辺整備を中心とした駅前周辺のまちづくりについてと、まちづくりに関連する公共交通についての2つの調査・研究を行うこととしました。

【駅前周辺のまちづくりについて】

1. 本市の現状

本市における駅前周辺のまちづくりは、阪急長岡天神駅周辺整備とJR長岡京駅東口駅前広場の再整備を中心に進められています。

阪急長岡天神駅周辺整備では、将来の連続立体交差事業の事業化を念頭においた、東西それぞれの地区整備を進める必要があります。東地区では、令和5年中の完成予定の駅東口暫定広場の整備が進んでいます。西地区は、連続立体交差の影響が少ないことから、再開発事業や区画整理事業の早期着手を目指しています。現在は、個別面談や数回の事業検討会を開催し、事業化に向けた議論が進められています。

JR長岡京駅東口広場は、当初の整備から30年以上が経過し、老朽化した駅前広場の再整備が進められています。再整備の一環として、歩行者優先を基本としながらも、自転車も安全に走行できるための整備やにぎわい広場の設置といったリニューアル工事が進められています。

2. 先進地視察の内容について

令和4年には、連続立体交差事業について、先進事例のある福岡県福岡市を視察し、令和5年には、土地区画整理と再開発事業の一体的施行について山口県防府市を視察しました。また、防災の観点も含めたまちづくりとして、真備地区復興計画について岡山県倉敷市の視察をしました。

福岡市の連続立体交差事業について、南部の地域拠点である西鉄天神大牟田線の雑餉隈駅付近の踏切では、慢性的な交通渋滞や重大な踏切事故が発生する等、安全で快適なまちづくりを行う上で大きな支障となっていました。これらの改善を図るために、雑餉隈駅を中心とした約1.9kmの区間を高架化した事業です。平成20年に都市計画決定、平成22年に連続立体交差事業計画が認可されて事業を開始、周辺地域の用地買収・支障物件移設を行った後、仮線・高架橋工事が進められ、令和4年に鉄道高架橋へ切替がなされました。事業の中で用地買収は、10年以上の長い期間をかけて地権者と交渉を行い、工事による周辺道路への影響に関して警察と綿密な調整を行いました。

防府市の土地区画整理と再開発事業の一体的施行について、昭和54年から始まった連続立体交差事業を契機に、土地区画整理事業が計画されました。しかし駅周辺（北側）には整理が難しい未利用地や不整形な土地が多く、有効な土地利用が出来ていませんでした。これらの改善を図る為、土地区画整理事業と共に防府駅北側のてんじんぐち地区1.5haの再開発事業を一体的に実施したものです。事業区域としては小さい範囲での再開発事業と区画整理を進めるために、公共公益施設と商業施設の複合施設（ルルサス防府）と、その上層を住宅とした再開発ビルが建設されています。事業実施により、都市居住を先導する住宅の供給など、中心市街地の活性化に寄与しています。

倉敷市における真備地区復興計画について、平成30年7月豪雨の影響により、倉敷市を流れる国管理河川2か所、県管理河川6か所の河川堤防が決壊し、市街化区域のほぼ全域を含めた真備地区の約3割が浸水する災害が発生しました。被災後、地区の復旧・再生、将来を見据えたまちづくりを推進する真備地区復興計画が策定、計画に位置付けられた様々な事業が展開されました。事業の一例として、吉備真備駅近隣を流れる河川周辺では、堤防強化以外に、災害時の避難場所機能も備えた復興防災公園（仮称）の整備が実施されており、災害に強いまちづくりが進められていました。

3. 今後の方向性

本市における今後のまちづくりは、阪急長岡天神駅周辺整備が中心となります。整備期間も長期にわたり、連続立体交差事業の影響も多く受けることが想定されます。

また、長岡天神駅周辺地区において、道路等の基盤整備を行い、都市機能を集積することで、土地利用の高密度化を図り、当該地の持つポテンシャルを最大限に活かすための事業展開が必要と考えます。

連続立体交差事業、長岡天神駅西地区及び東地区いずれの事業実施にあたっては、事業区域の住民の方々や事業者との合意形成が前提となるため、引き続き様々な意見を汲み取る機会を設け、駅前周辺整備に反映させていくことが必要です。

【公共交通について】

1. 本市の現状

本市における公共交通を取り巻く環境には、2つの緊急性の高い課題が発生していました。1. 新型コロナウイルスの影響により、阪急バス長岡京線の大幅な赤字見込みとなったことから、路線の収支改善・見直しを図る必要があること。2. 地域の中核病院である「済生会京都府病院（令和4年6月より京都済生会病院）」が阪急西山天王山駅近隣へ移転することで、公共交通でのアクセス方法の検討が必要となること。この2つの課題を解消するために、令和4年6月から、①路線バス（阪急バス）のルート・ダイヤの再編、②路線バスの運賃適正化、③利便性向上・利用促進策の導入の3つの柱と、併せてはっぴいバスの2ルートから3ルートへの拡大とをパッケージで実施しているところです。

2. 国の動向

国土交通省では、令和3年度から令和7年度までを計画期間とした第2次交通政策基本計画を策定しており、それによると、計画の基本的方針の一つに「誰もが、より快適で容易に移動できる、生活に必要不可欠な交通の維持・確保」があり、方針の目標としてまちづくりと連携した地域構造のコンパクト・プラス・ネットワーク化の推進が掲げられており、まちづくりと連携した地域公共交通ネットワークの再編が求められています。

3. 先進地視察の内容について

鉄道とバスの連携強化について、先進事例のある福岡県北九州市を視察しました。北九州市は、昭和38年に北九州工業地帯の中核であった門司市・小倉市・小畑市・八幡市・若松市が合併してできた政令指定都市です。市の公共交通の現状についてであります。人口減少や少子高齢化の進行及び新型コロナウイルス感染拡大の影響により、民間路線バスや市営バスの利用は減少をしています。このような背景の中、令和4年度から令和8年度までの5年間を期間とした「北九州市地域公共交通計画」を策定し、公共交通を取り巻く課題解決に向けた取組みを進めています。その取組みの1つとして現地を訪れたJR下曾根駅では、JR九州と西鉄バス北九州という異なる事業者間の連携を強化する施策を進めており、一例として駅構内にバスロケーションシステムを設置するとともに、西鉄バス北九州が運行する路線バス車内にJRの運行情報を表示することによる乗り継ぎ環境の改善がされています。また、都市圏への幹線ルートに接続するフィーダー路線の充実による運行系統の整理などを行うことで、各地域の公共交通の利用促進・利便性の向上などに取り組んでいます。

4. 今後の方向性

本市の公共交通については、現在、地域公共交通会議での議論をもとに、民間バス事業者及びタクシー事業者が連携し、路線バスやコミュニティバス（はっぴいバス）を効率的に運

行するとともに、バスからタクシーに便利に乗り継ぐことで、住民の移動手段を確保することに取り組んでいます。

今後、まちづくりをしていくにあたっては、令和4年に改訂された立地適正化計画で示された方針をもとに、まちづくりとさらに連携を深めた公共交通サービスの提供と地域公共交通計画の策定が必要となります。

議会としても、住民サービスの維持と充実のために、公共交通の今後の動向を注視し、調査・研究を進めていきます。

<建設水道常任委員会所管事務調査活動の概要 令和3年12月～令和5年9月>

開催日	調査・研究事項
令和3年12月 7日	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマについて意見交換 ・テーマの決定
令和4年 3月 2日	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細テーマの決定 ・スケジュールの確認 ・公共交通について理事者から説明を受け、意見交換 ・行政視察の日程・テーマ、行先などについて、正副委員長に一任
令和4年 6月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・行政視察（福岡県福岡市、北九州市）について意見交換
令和4年 9月 7日	<ul style="list-style-type: none"> ・阪急長岡天神駅東側について意見交換
令和4年12月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前周辺まちづくりについて意見交換 ・公共交通について意見交換
令和5年 3月 3日	<ul style="list-style-type: none"> ・「将来を見据えたまちづくり」の公共交通部分の報告書（案）について 意見交換 ・行政視察の日程・テーマ、行先などについて、正副委員長に一任
令和5年 6月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・行政視察（山口県防府市、岡山県倉敷市）について意見交換 ・「将来を見据えたまちづくり」の公共交通部分の報告書（案）について意見交換 ・管内視察（神足雨水ポンプ場貯留施設、神足ポンプ場、いろは呑龍トンネル分水施設）
令和5年 9月 6日	<ul style="list-style-type: none"> ・所管事務調査報告書について意見交換

<所管事務調査にかかる資料>

令和4年 3月 2日 配布

「テーマ及びスケジュール（案）」

「公共交通について」

令和4年 9月 7日 配布

「阪急長岡天神駅東地区市街地整備事業」

「ながてん東口暫定駅前広場整備 第2弾アンケート集計結果」

「阪急長岡天神駅西地区市街地整備事業 まちづくりの将来像（たたき案）」

令和5年 3月 3日 配布

「建設水道常任委員会所管事務調査報告書（案）」

令和5年 6月21日 配布

「建設水道常任委員会所管事務調査報告書（案）」

令和5年 9月 6日 配布

「建設水道常任委員会所管事務調査報告書（案）」